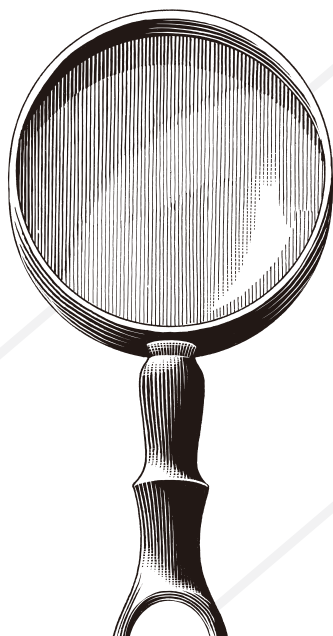


名探偵ガイド



飯城勇三

はやみねかおる

名探偵とは何か？ その多彩な答えが、ここにある！

W
推薦！

本書は“令和の名探偵総選挙”だ！
見つけてほしい、あなたの“推し”。

清涼院流水

海外50名＋国内100名 総勢150名の名探偵を解説！

名探偵ガイド

飯城勇三

星海社

316



本書のテーマ

本書のテーマ、それは〈名探偵〉です。正確に言うと、二作以上の作品に登場しているシリーズ探偵。一作限りの探偵は、事件が解決するまで名探偵認定はされませんが、シリーズ探偵は、二作目以降は冒頭ぼとうとうから名探偵認定がされています。ミステリの世界では、こういったシリーズ名探偵が何人も生み出され、活躍かつやくしてきました。本書では、彼ら古今東西の名探偵から、海外50名、国内100名の名探偵を紹介しています（ただし、チーム探偵などもいるので、ぴったり150人ではありません）。

名探偵のガイドブックはこれまでも刊行されてきました。そこでは多くの名探偵のユニークなキャラクターが紹介されていて、これも名探偵の魅力みりょくであることは間違いありません。しかし本書では、キャラではなく、「推理」と「事件との関わり」を重視して、取り上げる名探偵を選びました。

本書の狙い

事件の真相を語るだけなら、犯人でもできます。しかし、真相を「推理」するのは名探偵にしかできません。いや、「推理」こそが、作中人物の一人を名探偵にしているとも言えます。

そして、名探偵を考察する際に推理を用いると、どんなジャンルの探偵も、どんなメディアの探偵も、どんなタイプの探偵も、同じ基準で評価ができるのです。

例えば、読者は「この探偵は本格ミステリの探偵だから論理的な推理をするはずだ」とか、「この探偵はハードボイルドの探偵なので論理的な推理はしないはずだ」とか、「このシリーズは日常の謎なぞものなので殺人の可能性は推理しなくて良い」といったことを考えます。しかし、作中探偵は、そんなことを考えて推理したりはしません。どのジャンルでも、作中探偵はただ単に、自分の目の前で現実じつに起こった事件を推理しているだけに過ぎないのです。さらに言うと、小説の探偵も、漫画の探偵も、映像の探偵も、推理という観点からは、何も違いはありません。

ミステリは「先人たちの積み重ね」が重視されるジャンルですが、推理に着目してメディアやジャンルを超えた結びつけを行い、名探偵から名探偵への継承と発展を明らかにす

ることが、本書の狙い（ねらい）なのです。

“名探偵と事件との関わり”もまた、メディアやジャンルに左右されません。名探偵はアマチュアが多いのですが、ビジネスではないため、彼らには「何のために事件を捜査するのか？」「何のために事件を解決するのか？」という問題がつきまといまいます。さらに、真相を突きとめた“後”には、もっと大きな関わりが生じます。——それは、真相とどう向き合うか。ある探偵は犯人を警察に突き出し、ある探偵は犯人を見逃し、ある探偵は犯人を自らの手で裁（さ）く。ある探偵は解決をせず、ある探偵は事件をコントロールしようとし、ある探偵は誰かの都合に合わせて真相をねじ曲げる。推理自体に加え、推理の“後”を見ていくことによって、ミステリにおける継承と発展を明らかにすることができるのです。

この狙いを達成するために、なるべく多くの名探偵を取り上げることが目指し、150名という数の名探偵を選びました。継承にしろ発展にしろ、サンプルが少ないと見えてきません。みなさんが本書を読み進めると、名探偵と名探偵を結びつける糸が次々に見えてくるはずですよ。

なお、本書の執筆のために他の名探偵ガイドをチェックしてみると、村上貴史編『名探偵ベスト101』（新書館）が似たコンセプトを持っていることに気づきました。ただし、

初稿の執筆後にガイド文を突き合わせてみると、カーナツキとキッド・ピストルズに重なる部分がある程度でした。『名探偵ベスト101』を既読の人でも、本書を楽しんでもらえると思います。

本書の読者へ

本書は星海社新書から出る私の本としては、『エラーリー・クイーン完全ガイド』、『密室ミステリガイド』に続く三冊目になります。その『密室ミステリガイド』を読み、今年（二〇二四年）の七月に南雲堂から出た拙著『本格ミステリの構造解析 奇想と叙述と推理の迷宮』を読んだ人は、前者が後者の第一部——奇想（トリック）に関する論——と連携していることに気づいたのではないのでしょうか。『本格ミステリの構造解析』が総論、『密室ミステリガイド』が各論というわけですね。

本書もまた、『本格ミステリの構造解析』の第三部——推理に関する論——と連携して、各論と総論になっています。みなさんには、相補的に読んでいただけるとうれしいです。……ということは、次は『構造解析』の第二部と連携した『叙述トリックガイド』かな？最後に、その『密室ミステリガイド』の読者に感謝を。刊行前は、「トリックを明かして

考察する」という試みは受け入れてもらえないのではないかと不安でしたが、それは杞憂きゆうでした。多くの人が受け入れてくれたのです。そして、みなさんがこの本を支持してくれたおかげで、三冊目のガイド本を出すことができました。

本書もまた、みなさんに「これまでにない」楽しみを与える本として受け入れてもらえたら光栄です。

はじめに 3

海外篇

15

- 01 オーギュスト・デュパン エドガー・アラン・ポー 16
 02 ムツシュー・ルコック エミール・ガポリオ 18
 03 シャーロック・ホームズ コナン・ドイル 20
 04 隅の老人 バロネス・オルツイ 22
 05 アルセーヌ・ルパン モーリス・ルブラン 24
 06 ソーンダイク博士 R・オースティン・フリーマン 26
 07 カーナツキ W・H・ホジスン 28
 08 ブラウン神父 G・K・チェスタートン 30

- 09 アブナー伯父 M・D・ポースト 32
 10 ファリリップ・トレント E・C・ペントリィ 34
 11 エルキュール・ポアロ アガサ・クリスティ 36
 12 ピーター・ウイムジイ卿 D・L・セイヤーズ 38
 13 ジョーゼフ・フレンチ警部 F・W・クロフツ 40
 14 ロジャー・シェリンガム アントニイ・パークリー 42
 15 ファイロ・ヴァンス ヴァン・ダイン 44
 16 ミス・マーブル アガサ・クリスティ 46

47 46 45

V・I・ウオーショースキー サラ・パレツキー 104

オーウェン・バーンズ ポール・アルテ 106

リンカーン・ライム ジェフリー・ディーヴァー 108

国内篇

117

08 07 06 05 04 03 02 01

明智小五郎 江戸川乱歩 118

帆村莊六 海野十三 120

法水麟太郎 小栗虫太郎 122

仙波阿古十郎 (顎十郎) 久生十蘭 124

加賀美敬介 捜査二課長 角田喜久雄 126

金田一耕助 横溝正史 128

摩耶正 天城一 130

神津恭介 高木彬光 132

50 49 48

ロバート・ラングドン 教授 ダン・ブラウン 110

韓采蘆 (数学少女) 陸秋槎 112

ダニエル・ホーソーン アンソニー・ホロヴィッツ 114

16 15 14 13 12 11 10 09

鬼貫警部 鮎川哲也 134

結城新十郎 坂口安吾 136

応伯爵 山田風太郎 138

ハイカラ右京 日影丈吉 140

伊丹英典 福永武彦 142

仁木雄太郎 仁木悦子 144

三原紀一 警部補 松本清張 146

中村雅楽 戸板康二 148

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21		20	19	18	17
牧場智久	田沢軍平	矢吹駆	三毛猫ホームズ	神野推理	巫愛一郎	キャサリン・ターナー	神戸大助(富豪刑事)	十津川警部	退職刑事	辻真先	可能キリコ&牧薩次(スパー&ポテト)	墨野隴人	砂絵のセンチ	千草検事
竹本健治	連城三紀彦	笠井潔	赤川次郎	小林信彦	泡坂妻夫	山村美紗	筒井康隆	西村京太郎	都筑道夫	156	(スパー&ポテト)	高木彬光	都筑道夫	土屋隆夫
176	174	172	170	168	166	164	162	160	158			154	152	150

45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31
森江春策	鞠小路鞠夫	渋谷一也(ナル)	春桜亭円紫	元警察犬マサ	江神二郎	法月綸太郎	氏家周一郎	黒星光警部	島田潔&鹿谷門美	キッド・ピストルズ	更科丹希(ニッキ)	浅見光彦	御手洗潔	伊集院大介
芦辺拓	我孫子武丸	小野不由美	北村薫	宮部みゆき	有栖川有栖	法月綸太郎	中町信	折原一	綾辻行人	山口雅也	平石貴樹	内田康夫	島田荘司	栗本薫
206	204	202	200	198	196	194	192	190	188	186	184	182	180	178

60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46
九十九十九	犀川創平	紅門福助	匠千暁	中禅寺秋彦	葉村晶	古畑任三郎	夢水清志郎	江戸川コナン	金田一一	二階堂蘭子	火村英生	狩野俊介	メルカトル鮎	鮫島警部
清涼院流水	森博嗣	霞流一	(タック) 西澤保彦	(京極堂) 京極夏彦	若竹七海	三谷幸喜	はぢみねかおる	(工藤新一) 青山剛昌	金成陽三郎・さとうふみ	二階堂黎人	有栖川有栖	太田忠司	麻耶雄嵩	(新宿鮫) 大沢在昌
236	234	232	230	228	226	224	222	220	218	216	214	212	210	208

75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61
齊藤八雲	榎本径	涼宮ハルヒ	千葉	ヴィクトリカ・ド・ブロワ	南美希風	哀川潤	ケンイチ	黙忌一郎	折木奉太郎	僕	氷川透	石動戯作	安藤直樹	湯川学
神永学	貴志祐介	谷川流	伊坂幸太郎	カ・ド・ブロワ	柄刀二	西尾維新	瀬名秀明	(検閲図書館) 山田正紀	米澤穂信	乙一	氷川透	殊能將之	浦賀和宏	(ガリレオ) 東野圭吾
266	264	262	260	258	256	254	252	250	248	246	244	242	240	238

88 87 86 85 84 83 82 81 80 79 78 77 76

福家警部補 大倉崇裕 268

海老原浩一 小島正樹 270

刀城言耶 三津田信三 272

密室殺人ゲームの五人 歌野晶午 274

エノ 北山猛邦 276

影山 東川篤哉 278

神泉寺瞬一郎 深水黎一郎 280

デイスコ・ウエンズデイ 舞城王太郎 282

風間公親 長岡弘樹 284

浜村渚 青柳碧人 286

城坂論語 円居挽 288

凜田莉子 松岡圭祐 290

篠川栞子 三上延 292

おわりに 319

100 99 98 97 96 95 94 93 92 91 90 89

岩永琴子 城平京 294

シユルツ老 鳥飼否宇 296

猫猫 日向夏 298

裏染天馬 青崎有吾 300

緋色冴子 大山誠一郎 302

天久鷹央 知念実希人 304

上苙丞 井上真偽 306

片桐大三郎 倉知淳 308

劍崎比留子 今村昌弘 310

相以 早坂吝 312

葛城輝義 阿津川辰海 314

明神凜音 紙城境介 316

【ガイドの項目】

Profile

- ① 作者
- ② 初登場作・発表年
- ③ 代表作
- ④ 助手役
- ⑤ 特徴（年齢や肩書きは初登場時のもの）

Debut

初登場作のあらすじ

Guide

解説

※ガイド文中の引用文は、表記統一のため手を入れたり、スペースの都合で縮めた場合があります。

※各名探偵が登場する作品のトリックや物語の展開に踏み込んで言及している箇所があります。予備知識なしで作品を読みたい方は、未読のものは避けてお読みください。



海

外

篇

はじまりの探偵

オーギュスト・デュパン

Profile ①エドガー・アラン・ポー ②「モルグ街の殺人」1841 ③「盗まれた手紙」④ぼく（語り手／同居している友人）⑤若い／勳爵士／貧乏／分析に快感を覚える。

Debut わが友人デュパンは、驚嘆すべき分析力の持ち主で、私の考えを読み取ったりする。そんな彼が興味を抱いたのは、パリのモルグ街で起きたレスパネー母娘殺人事件だった。二人を殺した犯人は、どこの国ともわからない言葉を発し、密室の中から忽然と姿を消したのだ。

Guide 名探偵第一号であるデュパンのデビュー作「モルグ街の殺人」の冒頭では、分析的知性を説明しているが、そこには次の文がある。

「分析家は錯綜した物事を解明する、知的活動を喜ぶのである」。「そして、それらの解明において、凡庸な人間の眼には超自然とさえ映ずるような鋭利さを示す」。

デュパンは、この「分析家」に他ならない。つまり、「モルグ街」は、分析的知性の持ち主（デュパン）が、それを用いて錯綜した事件（密室殺人事件）を解明する姿——凡人には超自然に見える鋭利さを發揮する姿——を描いた小説なのだ。言い換えると、作者が描きたいのは、名探偵が事件の真相を説明する物語ではなく、名探偵が事件の真相を推理する物語なのだ。

そして、「モルグ街」に加えて、「マリー・ロジ

エの謎」「盗まれた手紙」において、デュパンはいくつもの推理を披露してきた。語り手であるへぼくくの行動から思考を見抜く推理、不可能で不可解な状況を解き明かす推理、犯行現場に残された手がかりから犯人を特定する推理、犯人の思考をトレースする推理……。そして、これらの推理が後続の名探偵に受け継がれていった。

だが、ポーが生み出した推理は、これだけではない。「群集の人」の「相手を観察して職業を特定する推理」や「黄金虫」の「暗号を解読する推理」のように、一作のみに登場する分析的知性の持ち主が披露する場合もある。さらに、「メルツェルの将棋差し」の「トリックをあばく推理」や、書評の「『バーナビー・ラッジ』評」の「伏線を回収する推理」のように、ポー自身が披露する場合もある。

る。こちらの推理もまた、後続の名探偵に受け継がれている。

ただし、後続の作家たちは、ポーのこういった推理を受け継ぐだけではなかった。ポーの推理を変形したり、新たなものを付け加えたりしたのだ。本ガイドでは、これを見ていきたい。

また、「名探偵と事件との関わり」という観点から見ると、ポーは、「名探偵とは事件を解明する者」という図式から一步も出ていない。「お前が犯人だ」では、探偵役がらみの有名な趣向の源流になったアイデアを用いているが、やはりこの図式に収まっている。後続の作家がこの図式に挑んで、「名探偵は事件を解明するだけではない」作品をいくつも生み出していった姿もまた、本ガイドで見たい。

短篇には向かない探偵

ムッシュ・ルコック

Profile

①エミール・ガボリオ ②『ルルージュ事件』1866 ③『ルコック探偵』④タバレ(師匠) / ジェヴロール治安局長 ⑤二十代前半 / 刑事 / 前科者 / 変装の名人 / タバレの弟子

Debut

フランスの村で、裕福な未亡人ルルージュが殺され、予審判事と治安局長、そしてルコック刑事が捜査にやって来る。だが、どうやら犯人の方が一枚上手らしく、手がかりが見つからない。そこでルコックは、師である素人探偵のタバレを呼びに行く――。

Guide

世界最初の長篇探偵小説『ルルージュ事件』で名探偵をつとめたのはタバレで、彼はこの物語の時点で、警察から一目置かれるほどの実績を持つアマチュア探偵。だが、本作では彼の助手に留まっていたルコックが、次作以降は主役探偵になった。おそらく長篇では、タバレのような天才型探偵は使にくかったのだろう。

『ルルージュ事件』の第二章では、タバレは邦訳書で五ページを費やして推理を披露する。実際には、「机の上のほこりに丸い跡が残っている↓これは帽子の跡だ↓犯人は帽子をかぶっていた」といったレベルの推理ではあるが、シャーロック・ホームズ登場以前ならば、これで問題はない。問題は、残り十八章もあるのに、ここで事件当日の「被害者の動き」、「犯人の動き」、「犯人の特徴」がほとんど明らかになってしまったこと。残された

捜査は、事件関係者を調べて犯人の条件を満たす人物を見つけて出すことと、動機を明らかにすることとしかない。そして、こういった手間のかかる捜査は、アマチュア探偵ではなく、警察がやるべきなのだ。もともと、本作では重要な事件関係者がタバレの知人だったので彼が犯人を突きとめ、自分で動機が明らかになるが、この手は毎回使えるわけではない。かくして探偵役は、警察官であるルコックに代わることになった。彼は基本的に、捜査↓手がかりの発見↓推理↓推理に基づく捜査↓新たな手がかりの発見↓推理、という流れで行動している。これにより、探偵の活動が長篇の長さを支えられるようになった。まあ、ルコックもこの長篇は——のちにホームズものの長篇が真似たように——後半では過去のドラマが描かれるの

で、正確には「長篇の半分の長さ」だが。

加えて、ルコックは失敗する点も無視できない。例えば、『ルコック探偵』では、行き詰まったルコックの相談を受けた師タバレは、弟子の三つの過ちを指摘し、さらに、真相に気づきながらも「ありえない」と退けたことを批判する。こういった探偵活動における試行錯誤は、名探偵にとってはマイナスだが、当時の長篇ミステリの探偵役としてはマイナスではない。

ホームズは『緋色の研究』の中で、「僕なら二十四時間で（事件を）解決できた。ルコックは六ヶ月程もかかった」と批判している。だが、タバレだって二十四時間で解決できたに違いはない——が、そうすると短篇になってしまうので、作者はルコックに任せたわけである。

はじまりの名探偵

シャーロック・ホームズ

Profile

① コナン・ドイル ② 『緋色の研究』 1

887 ③ 『シャーロック・ホームズの冒険』 ④

ワトソン（語り手／友人） ⑤ 二十代後半／長身／

やせ形／鷲鼻／バイオリン、フェンシング、ボク

シング、バリツの達人／コカイン愛好家

Detail

元軍医の私（ワトソン）がロンドンでのル

ームシエアの相手として選んだホームズは、卓越

した推理力を持つ名探偵だった。その彼と最初に

挑んだ事件は、空き家での殺人。残されていた

「復讐」の文字が意味するものは……。

Guide

「推理」という観点からは、ホームズはオ

ーギュスト・デュパンに勝る点は何一つないよう

に見える。唯一、推理と捜査の連携だけはデュパ

ンはやっていないが、こちらはムツシュー・ルコ

ックが実践済み。

だが、「名探偵」という観点からは、ホームズは

デュパンのはるか上に立つ。デュパンは推理を披

露するためだけに造られた存在に過ぎないが、ホ

ームズは違う。ホームズはヒーローであり、ヒー

ローの武器が推理なのだ。ブラック・ジャック

（手塚治虫）が手術の腕でヒーローになるように、

ゴルゴ13（さいとう・たかを）が狙撃の腕でヒーロ

ーになるように、ホームズは推理の腕でヒーロー

になっている。つまり、ブラック・ジャックもゴ

ルゴ13も、そしてホームズも、困難な依頼を卓越

した技量で遂行するヒーローの一人なのだ。

ただし、ヒーローの「卓越した技量」は、桁違いのものであつてはならない（主人公だけが三百キロの剛速球を投げる野球漫画が面白いだろうか？）。もちろん、ドイルはそれをわかちつていて、二人の人物をシリーズに加えている——シャーロック・ホームズの兄のマイクロフト・ホームズと、宿敵のモリアーティ教授を。ホームズに匹敵する頭脳の持ち主を探偵側と犯人側に置くことによって、作者は彼が孤高の超人ヒーローにならないようにしているわけである。同時に、マイクロフトが弟と同等の推理を見せ、モリアーティが天才犯罪者ぶりを発揮することにより、ホームズの推理がチーム能力ではないことも示す。さらに、凡人であるワトソンとの友情を描くことによって、ホームズに人間味を与えてもいる。

かくして、魅力的な名探偵ヒーロー——ホームズの冒険譚は、圧倒的な人気を獲得。そして、便乗した探偵ヒーローものがいくつも書かれるようになる。読者側に変化が生じてくる。型にはまった作品が同じ雑誌に定期的に掲載されるため、その雑誌の定期購読者は、自分でも真相を推理してみようと考え出したのだ。ここで探偵役は、読者に推理を披露するだけの存在から、読者の競争相手に変わった。雑誌の編集部もまた、挑戦状を入れたり、短篇を問題篇と解決篇に分けて解答を募集したりするようになった。ホームズもまた、「夜の犬の不思議な行動」といったヒントを読者に、向けてばらまくようになった。つまり、黄金時代（大戦間）の〈作者と読者のゲーム〉の源流は、デュパンではなくホームズだったのだ。



国内篇

探偵と犯人は紙一重

明智小五郎

Profile ①江戸川乱歩 ②「D坂の殺人事件」1

925 ③「屋根裏の散歩者」 ④私（語り手）／浪越警部／小林少年 ④二十五歳を超えていない／書生／本に埋もれて暮らす／モジャモジャ頭／後に妻帯し、少年探偵団の後見人になる。

Feature 私は明智小五郎という青年と知り合い、探偵小説談義を楽しんでいた。そんなある日、古本屋の女房が密室状況で殺される。被害者が明智の幼馴染みだと聞いた私は、一つの推理を組み立て、それを披露するが……。

Guide

初期の乱歩は結末で真相をひっくり返したり宙ぶらりんにしたたりするのを好んでいた。だが、これはシリーズ名探偵とは相性が悪い。名探偵の推理結果をひっくり返したり宙ぶらりんにしたたりするわけにはいかないし、読者は「名探偵が解決する前に提示された解決はひっくり返されるな」と予想できてしまうからだ。実際、「D坂の殺人事件」では、明智は名探偵ではなく、重要容疑者の一人として登場している。

だが、好評を受けて明智をシリーズ探偵にしたことにより、乱歩は従来の「真相を確定させないミステリ」に加え、「名探偵に真相を確定させる本格ミステリ」も書けるようになった。そして、「心理試験」や「屋根裏の散歩者」といった名探偵の存在を利用した傑作を生み出していく。ただし、通俗ものや、子供向け作品にも明智を登場させた

のはまづかった。これは当時の他の作家もやっていることなのだが、乱歩の場合は大きな問題が生じてしまうからだ。

〈少年探偵団〉の団員は普通の少年少女なのだが、彼らはけっこう危険な目に遭っている。大人的事件に勝手に首を突っ込み、殺されかかるのだ——と書くと、「二十面相は人を殺さないから大丈夫」と反論する人がいるかもしれない。だが、その考えは間違っている。少年探偵団の世界に明智と文代夫人がいるということは、蜘蛛男や魔術師や人間豹もいることになる。そして、アドバルーンで逃げる人間豹が二十面相の変装なのかそうでないのかは、捕まえてみないとわからないのだ。作風が大きく異なるのに名探偵を共有したために生じた問題と言える。

ただし、「推理」の観点からは、この問題は生じ

ない。どんなに作風が異なっても、明智の推理は変わらないからだ。

明智は「D坂」で自らの推理法を「心理的に人の奥底を見抜くこと」だと語っている。一見するとファイロ・ヴァンスと似ているが、実は、ヴァンスが犯人の心理を評論家として見ているのに対して、明智は犯人に共感しているのだ。言い換えると、ヴァンスの推理法は〈FBI心理分析官〉風で、明智はハンニバル・レクター博士風というわけである。「D坂」や「屋根裏」の犯人も、蜘蛛男も魔術師も人間豹も、そして怪人二十面相も自身の同類だから、明智は彼らの事件を解決できるのだ。金田一耕助や神津恭介が持っていない、この犯罪者性こそが、彼をユニークな名探偵にしているのだろう。

探偵はジャンルを超える

帆村莊六

Profile ①海野十三 ②「麻雀殺人事件」193

1 ③「省線電車の射撃手」 ④雁金検事／大江山
警部／須永助手／大辻助手 ⑤「目下売出しの青
年探偵」／科学探偵／有楽町で私立探偵局を開い
ている／麻雀好き

Taboo 帆村が雀荘で麻雀をしていると、隣の卓
で殺人が起こる。被害者の親指の腹に傷があり、
この指で毒を塗った麻雀牌を盲牌したために毒殺
されたと推理する帆村。だが、殺害方法がわかっ
ても、犯人はわからないままだった……。

Guide

作者は帆村を通俗ものや子供向けにも登
場させているが、明智小五郎のガイドで考察した
問題は生じていない。帆村の場合、初期短篇の
「浮囚」も、通俗ものの『蠅男』も、子供向けの
『美しき鬼』も、犯人の残虐性は変わらないため、
探偵としてやるべきことは同じだからだ。

ところが、帆村は——明智とは違って——SF
にも登場するために、別の大きな問題が生じてい
る。これらのSF作品では、帆村は宇宙人やロボ
ットやサイボーグとも戦う（あと、未来の世界で宇
宙船に乗って活躍する『帆村莊六』もいるが、まあ、
これは子孫が名前を継いだのだろう）。もちろん、こ
の世界では宇宙人も容疑者の一人なので、帆村が
探偵としてやるべきことは変わらない。だが、読
者の推理が変わってしまう。というのも、帆村も
のを読む場合、ミステリ的な解決とSF的な解決

の両方の可能性を頭に入れて推理する必要があるからだ。例えば、帆村ものの中篇の一つに、超能力者による犯罪としか思えない作がある。ここでシリーズの愛読者ならば、「今回の帆村は超能力者と戦うのか」と考えるに違いない。ところが、解決篇に入ると、超能力者は存在せず、人間がトリックでそう見せかけていたことが判明。ここで読者は驚くわけである。超能力者が出てきても、「どうせ二十面相のトリックだろう」で済む乱歩作品とは違うのだ。

ここで帆村の推理自体に目を移すと、初期短篇は、当時としてはかなりレベルが高い。デビュー作の「麻雀殺人事件」では、麻雀牌を使った毒殺トリックを早々と明かし、「このトリックを使ったのは誰か」という謎を、現場に落ちていた脱脂綿

から解明。「省線電車の射撃手」の推理の原理はクイーンズの『アメリカ銃の秘密』と同じだが、犯人が走行中の列車の中にいるか外にいるかで（慣性の法則で）弾道が変わるため、推理がより複雑になっている。また、トリックの解明に特殊な科学知識が必要な場合は、それを事前に読者に提示するようにしてもいる。例えば「人間灰」では、死体を液体窒素で凍らせるトリックを解決篇より前に明かし、「なぜ犯人はそんな方法を使ったのか？」を読者に挑戦しているのだ。もつとも、「俘囚」のように解決篇まで明かすことができない珍奇なトリックの作品が——読者が推理できない作品が——けっこう多いため、帆村ものは「本格ミステリ」と思われていないのだが……。

探偵は Pedantic が止まらな

法水麟太郎

Profile

① 小栗虫太郎 ② 「後光殺人事件」 1933
 ③ 『黒死館殺人事件』 ④ 支倉検事／熊城捜査局長 ⑤ 「三十七八がらみ」／刑事弁護士／博学／舞台でハムレットを演じたことがある。

Debut

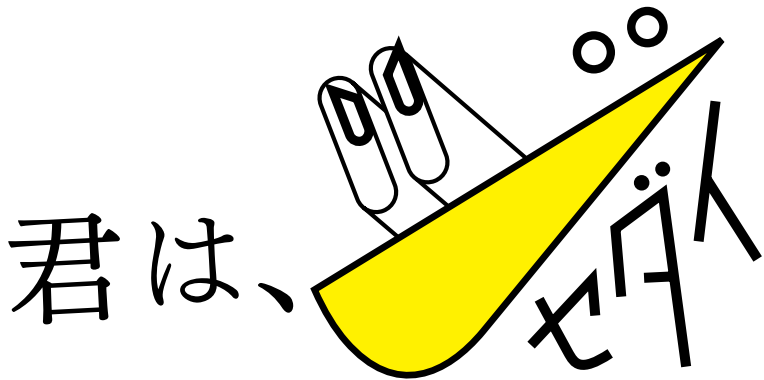
法水は支倉検事から呼ばれて劫楽寺に向かう。住職が奇怪な変死を遂げたというのだ。熊城が「(死体を見れば) 僕が態々君をお招きした理由に合点が往くだろう」と言う通り、怪奇派の空想画さながらの死体の状況を見た法水は、心中の動揺を覆い隠せなかった。

Guide

法水麟太郎を名探偵として見た場合、最大の特徴は、その「ヘダントリー」だろう。作者は自身がヴァン・ダインの影響を受けていることを認めているので、法水のペダントリー(知識や教養のひけらかし)は、ファイロ・ヴァンスを踏襲したものと考えて間違いない。——という考えは間違っている。実作を読み比べるならば、その使い方がまるで異なるからだ。

まず、ヴァンスが初めて推理を披露する『ペンシン殺人事件』の第九章を見てみよう。引用とラテン語を乱発していたヴァンスが、推理を語り始めると普通の話し方に変わるのだ。井上勇訳で読んだ人は、「横文字+カタカナルビ」が急に姿を消してしまったので驚いたと思う。

もちろん、本ガイドの読者ならば、その理由はわかるに違いない。ヴァンスは、読者にフェアプ



何と闘うか？ <https://ji-sedai.jp>

「ジセダイ」は、20代以下の若者に向けた、**行動機会提案サイト**です。読む→考える→行動する。このサイクルを、困難な時代にあっても前向きに自分の人生を切り開いていこうとする次世代の人間に向けて提供し続けます。

メインコンテンツ **ジセダイイベント**

著者に会える、同世代と話せるイベントを毎月開催中！ 行動機会提案サイトの真骨頂です！

ジセダイ総研

若手専門家による、事実に基いた、論点の明確な読み物を。「議論の始点」を供給するシンクタンク設立！

星海社新書試し読み

既刊・新刊を含む、すべての星海社新書が試し読み可能！

マーカー部分をクリックして、「ジセダイ」をチェック!!!

行動せよ!!!